



くりすます

ふっているのは ゆきかしら
それとも そらの ほしかしら
とおくで かねが なっている
そうです こんやは くりすます
「かみさま めりー くりすます！」

教会の暦では、12月3日(日)から イエス様のお誕生を心待ちにする「待降節」が始まります。幼稚園では、聖劇にあわせて一足早い「待降節」(アドベント)を過ごしています。幼稚園では、「アドベント・キャンドル(待降節の4本のろうそく)」を準備しています。4本のろうそくは、待降節中の4つの日曜日を意味しています。日曜日ごとに、ろうそくの火を1本ずつ増やしていきます。幼稚園では、月曜日ごとに増やします。光が増えるごとに、温かさも増していきます。イエス様のご誕生を心待ちにしているのです。子どもたちは、増えていく光に、ご誕生の日が近づいてくるのを感じ、優しい心、強い心を一本のわらに込めて、飼葉おけにお捧げしています。エントランスに置いてますので、どうぞご覧ください。

子どもたちが生きている乳幼児期は、すべてにおいて人生の土台を築いている時代です。この時に、「人として生きること」「社会の中で幸せになること」へ向かうすべを身につけていくことは、その後の人生において大切なことです。クリスマスを迎えるにあたり、「生きること」「幸せになること」を考える機会にしていきたいですね。

幼稚園では、毎日クリスマスの聖歌をうたう子どもたちの声が響いています。年長さんも年中さん、年少さんも口ずさみながら廊下を歩いています。聖劇の練習を通して、年中さんは「年長になったら、マリアさまになるねん」「はかせをやりたい」とか、言ってセリフを真似たりしています。年少さんは、あこがれの表情で舞台を見つめています。色々な思いを持って、全学年で取り組む聖劇をどうぞ楽しみになさってください。

保護者の皆様と一緒に、イエス様のご誕生をお祝いできることを職員一同、楽しみにしています。



□ 12月のねらい

年長	・待降節を過ごす中で、自分のことだけでなく自分の周りや世界に視野を広げ過ごす。
年中	・聖劇を通して、イエス様の誕生とその周りの優しさを知り、思いやりの心を持つ。 ・行事などを通して、1年の終わりに気づき自分なりに意味を感じて過ごそうとする。
年少	・冬の自然に触れながら、体を動かして遊ぶ。 ・聖劇やクリスマスに期待を持つ。
2歳	・一番大きな贈り物であるイエス様のご誕生を皆でお祝いする。 ・様々な遊びや全身運動を楽しみ、好奇心を広げる。
1歳	・一番大きな贈り物であるイエス様のご誕生を皆でお祝いする。 ・秋の自然に親しみ、お散歩や園庭遊びを楽しむ。